

7 中国

鹿寨化学肥料工場建設事業(1)~(4)



本事業により建設された鹿寨化学肥料工場

[借款概要]

承諾額/実行額	10,273百万円 / 10,273百万円
借款契約調印	1991年10月 ~ 1995年11月
借款契約条件	金利2.3% / 2.6%、返済30年(据置10年)
貸付完了	1999年11月 ~ 2000年12月

[事業概要]

本事業は年間生産量24万トン規模の肥料工場を建設することにより、急増する広西壮族自治区の化学肥料需要、ひいては食糧増産需要に対応するもの。

[評価結果]

本事業により、広西壮族自治区に建設された二磷酸アンモニウム(DAP)肥料工場(24万トン/年:製品重量ベース)は、稼動1年目の2001年に計画値の83%である16万トン、2年目の2002年には64%の14万トンを生産した。DAP肥料は同自治区の農民に十分知られていないため、同自治区での販売は限定的なものとなっている。その結果、同自治区の食糧自給に対しての本事業による効果はあまり見られない。しかし、本事業が完成した2000年以降、DAP肥料の国内生産量が増加し、輸入量が減少していることから、本事業による生産はDAP肥料の国内自給に一定程度貢献している。

DAP肥料は他の化学肥料よりも農産物の増産効果があることが報告されており、DAP肥料の潜在的需要は十分にあると考えられる。引き続き生産安定化に向けて注力し、宣伝・営業活動を広げていくことが必要である。